



～済生会今治病院専門認定看護師レター～ 第4号 2014年10月発行

現在、専門看護師は11分野、認定看護師は21分野あります。
今回は、**糖尿病分野** と **緩和ケア分野** に関連のあることをお知らせ
したいと思います。

糖尿病分野

皆さん、糖尿病という病気をどのように思っていますか？自分や親しい友人、愛する人が糖尿病だったら、すごく身近に感じると思いますが、そうでなければあまり考えることはないと思います。糖尿病は、自覚症状のないまま進行し、失明や腎不全、足の切断といった合併症を引き起こす恐ろしい病気です。いま、世界規模で糖尿病患者さんは増え続け、日本でも決して例外ではありません。

あなたと、
あなたの
**大切なひとの、
未来のために**

11月14日
世界糖尿病
デー



この日は全国各地で『糖尿病予防』の催しが開かれます。
11月16日(日)には、松山市大街道でもキャンペーンを行います。みなさん、日ごろの生活を今一度見つめ直し、『糖尿病』について一緒に考えてみませんか。

平成26年11月14日
19時～24時。
今年も
今治市公会堂が
フルーにライト
アップされます。

緩和ケア分野

～痛みを和らげるために～

がんの痛みを和らげるオピオイド(医療用麻薬)は、モルヒネ製剤、オキシコドン製剤、フェンタニル製剤などの種類があり商品は様々あります。昨年からフェンタニルのレスキューが発売されています。突出痛(一時的にあらわれる強い痛み)に使用します。

舌下錠やバツカル錠(口腔粘膜から吸収させる錠剤)なので内服困難な方にも使用できます。

当院では、2014年9月から舌下錠を使用することとなりました。

★アブストラル舌下錠は、内服薬(オプソやオキノーム)とは使用方法が異なりますのでご注意ください。適切に使用し痛みをやわらげましょう。

川森さんがCNSになるまで



【専門看護師になるためには】

- ・日本国籍と看護師免許必須
- ・①看護系大学院修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位（総計26単位または38単位）を取得していることと②実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であることの2点を満たすことが必要
- ・認定審査（書類審査・筆記試験）を受ける
- ・審査合格後、専門看護師認定証交付・登録（5年ごとに更新制）



【専門看護師の役割】

6つ：実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究



↑ 学内の様子 →

【大学院ってどんなところ？】

- ・クラスは、先生から出された課題に対して自分で調べてまとめ、クラスの中でプレゼンを行い、先生も含めてみんなで議論を行う形が多かった。
- ・実習は最低ラインは先生もサポートしていただけますが、基本的には細かい実習交渉などは自分で行いました。
- ・修士論文は約1年半かけて作成。じっくりと絞り込んだテーマについて看護研究を行いました。自分との闘い！
- ・クラスの合間をぬって、同級生たちとキャンプや飲み会などの企画を立て、交流を深めました。今でも仲良しです。
- ・ものの見方や捉え方がひろがりました。

【どうして大学院に進学をしたのか？】

・患者さんが病院から生活の場所をかえる時にどうしてスムーズにできないのだろうか？患者さんが病院から生活の場所をかえる時にスムーズに安心して次の生活の場所に行くためにはどうすればいいのだろうか？と悶々としていることを先生に相談したら進学を勧められました。

進学した高知女子大学大学院（現高知県立大学大学院）看護学研究科の概要



【大学院の入学試験って？】

受験を決めてから試験までが約1か月ほどしかなかったため、行ったことは①過去問を入手して自分の意見をまとめること②進学したい領域の英文献をとにかく読むということを3交代の合間に狂ったように行いました。

【地域看護専門看護師ってどんなことをするのですか？】

産業保健、学校保健、保健行政、在宅ケアのいずれかの領域において水準の高い看護を提供し、地域の保健医療福祉の発展に貢献します。個人の健康から地域全体の健康を見る視点を持った、高度な看護実践を行います。健康と生活をつなぎ、病院と地域での医療をつなぎます。

現在、全国で25名の地域看護専門看護師がいます。



院内外、いろんな職種とさまざまな方と繋がって支援しています。院外にも出て活動しています。 川森



【専門看護師を目指してみませんか？】

現在、専門看護師は11領域（がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・受傷患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護）あります。奨学金制度も整ってきているので、是非、進学をご検討ください。ご相談などは随時声を掛けてください。

【活動報告】

- ◆10月17～19日 四国ストーマリハビリテーション「スキンケア」講師 磐浅万紀子
- ◆9月9日 当院主任会口腔ケア勉強会「口腔ケアと感染の関係」講師 西村小百合
- ◆川森（地域CNS）支援延べ人数（平成26年7～9月）
在宅療養患者121名、当院入院患者75名、他院入院患者13名

【研修告知】

- ◆11月15日 東予感染対策セミナー 新居浜ユアーズにて
- ◆11月7日 当院院内研修 がん患者・家族への在宅支援 川森淳子



編集責任 村上 & 永井